

琉球舞踊関係資料群贈呈式の挙行

1. 概要

- ・琉球芸能の大家である川田松夫（かわたまつお 1903-1981）氏及びその長女である川田禮子（かわたれいこ 1934-）氏の関連資料約100点が、今般琉球大学附属図書館へ寄贈されることとなった。
- ・2024年6月10日に関係者が附属図書館に来訪されるが、その際、一部資料を直接寄贈くださることから、贈呈式を開催する。
- ・贈呈式は関係者のみで開催予定だが、報道関係者向けには公開する。寄贈資料群の簡単な解説も贈呈式で開催する予定である。
- ・寄贈資料群の概要は別紙のとおりである。

2. 贈呈式の内容

(1) 日時

2024年6月10日（月） 15:00～15:30

(2) 場所

琉球大学附属図書館 本館1階 ライブラリーホール

(3) 参加者

- ①川田氏関係者
- ②附属図書館関係者

(4) 式次第

1. 館長あいさつ
2. 資料贈呈
3. 資料紹介

寄贈資料群の概要

琉球芸能の家元として戦前から現代まで沖縄と東京で活動し、琉球芸能の伝承と普及に貢献している冠船流（かんせんりゅう）川田禮子氏とその父で琉球古典音楽・沖縄民謡の名人川田松夫氏の資料である。琉球舞踊の免許証や写真など約 100 点が寄贈される。

<代表的な資料>

・免許証

琉球舞踊家の名優として名高い渡嘉敷守良（とかしきしゅりょう 1880-1953）から川田禮子氏への琉球舞踊の免許証。1946（昭和 21）年 11 月発行。

1719 年の冠船（かんせん）芸能から現代に至るまでの琉球舞踊の系統を糺（ただ）し、歴代の琉球士族の冠船踊（かんせんおどり）の師匠から渡嘉敷守良、川田禮子氏へとつながる芸能の系譜を記している。6 歳で琉球舞踊の天才少女と有名になった川田禮子を弟子とし、御冠船（おかんせん）舞踊正当流の後継者とするという内容である。

琉球舞踊の系譜や師弟間の絆がわかる資料。琉球舞踊の免許皆伝の書はほとんどなく貴重である。貴重資料として受け入れ予定。

・写真「玉城盛重翁古希祝賀芸能会記念撮影」

玉城盛重（たまぐすくせいじゅう 1869-1945）ら戦前の琉球芸能の第一人者などが一同に会した貴重な写真。1940（皇紀 2600）年 3 月 25 日撮影。貴重資料として受け入れ予定。

・機関誌『花かんざし』

琉球舞踊の冠船流川田琉球舞踊団が発行していた機関誌。全 33 号。東京で戦前から活動してきた冠船流川田琉球舞踊団の川田松夫・川田四姉妹の活動の様子の紹介にとどまらず、芸能者、研究者などの論考も多く含むことから、琉球舞踊の研究にも広く利用が見込まれる資料である。寄贈される 2 セットの内 1 セットは開架資料として受け入れ予定。

以上